

日本コーチング学会第 28 回学会大会

兼 第 10 回日本体育学会体育方法専門領域研究会

開催趣意書

本大会は、わが国におけるコーチングに関する科学の学問的発展を促すとともに、スポーツ場面におけるコーチングの力量の向上に寄与する実践的知見を得ることを目的として開催するものです。

上記を達成するために、コーチングの科学の集大成とも捉えることができるオリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）の目指すべき方向性を考えてみたいと思います。

基調講演では、日本パラリンピアンズ協会会長の河合純一氏（2016年 IPC パラリンピック殿堂入り）に、「2020 東京」に向けた抱負やお考えをお話いただきます。

また、シンポジウムにおいては、オリパラで戦った日本代表監督の方々の采配を学ぶとともに、「2020 東京」に向けた、日本独自の技術・戦術・トレーニング・指導法等に関するアイデアをお伺いし、学会員の皆様との議論を活発に交わす場にしたいと思います。

多くの学会員の皆様のご参加を仰ぎ、ご意見等を伺うことができれば幸いです。

記

1. 大会名：日本コーチング学会第 28 回学会大会
2. テーマ：— 2020 年東京オリパラに向けて— 「競技場面で活用される科学的知見」
3. 主催：日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域
4. 共催：早稲田大学スポーツ科学学術院（予定）
5. 大会長：朝岡正雄（環太平洋大学体育学部）
6. 会期：3 月 21 日（火）、22 日（水）
7. 会場：早稲田大学東伏見キャンパス 79 号館 STEP22
（〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-4-1）
8. 参加者：コーチング・体育方法専門領域の研究者、競技現場の指導者、
コーチングに興味を持っている方々（当日参加は可）

日本コーチング学会第 28 回大会 大会組織委員長 葛西順一

日本コーチング学会第 28 回学会大会

兼 第 10 回日本体育学会体育方法専門領域研究会

開催要項

会 期	2017 年（平成 29 年）3 月 21 日（火）～22 日（水）
会 場	早稲田大学東伏見キャンパス 7 9 号館 STEP22
大会長	朝岡正雄（環太平洋大学体育学部）
大会組織委員長	葛西順一（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）
テーマ	— 2 0 2 0 年東京オリパラに向けて — 「競技場面で活用される科学的知見」
ホームページ	準備中
主なプログラム	<ul style="list-style-type: none">• 基調講演• シンポジウム• 一般発表（インパクトプレゼンテーション）：20 題• 一般発表（ポスター発表）：60 題• ワークショップ• 理事会、総会、各種委員会等• 情報交流会
一般演題申込	演題申込〆切 2017 年 1 月 11 日（水）
大会組織委員会・事務局	早稲田大学スポーツ科学学術院 担当：葛西順一 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15 FAX: 04-2947-6750 E-mail: kasai@waseda.jp

日本コーチング学会第28回学会大会

兼 第10回日本体育学会体育方法専門領域研究会

大会組織

《名誉大会長》 鎌田 薫（早稲田大学総長）

《大会長》 朝岡正雄（環太平洋大学体育学部）

《大会組織委員会》（予定）

- ◎大会組織委員長 葛西順一（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎企画担当 射手矢岬（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎財務・広報担当 奥野景介（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎運営担当 倉石 平（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎プログラム担当 太田 章（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎総務担当 藤田善也（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- ◎庶務担当 岡田純一（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- 磯 繁雄（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- 松井 泰二（早稲田大学スポーツ科学学術院）

○事務局

- 事務局長：葛西順一（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- 事務局員：藤田善也（早稲田大学スポーツ科学学術院）